



NPO 法人

ガハハ塾



学校や社会に適応しにくい人々の
居場所づくりを
社会参加・自己の確立を地域と共に

共感&広がり

【この活動を必要とする社会的な背景】

現代社会では、学校や社会に馴染めないと感じている人が少なくありません。彼らの多くは、自分に自信を持たず、「認められない不安感」を抱えています。そこで「ガハハ塾」は、そうした人々が安心して集い、直接体験やボランティア活動を通じて生きる力を育む場所として、活動しています。活動を通じて、仲間と支え合い、学び合いながら心のつながりを育むことを目指しています。

【活動内容】介護施設や地域でのボランティア活動、自然体験などを実施しています。メンバーは小学生から高校生、社会人、そして地域の高齢者まで幅広く参加しています。世代を超えた関わりを通じて一人ひとりが自分の存在価値を感じられるような場を目指し活動しています。

【子どもたちや保護者の活動目的】

- ・自然とのふれあいを通じた成長と学び
- ・チームワークの養成
- ・収穫した野菜を通じた栄養と美味しさの共有（食育）
- ・地域とのつながり
- ・実践的な経験を通して学び成長する機会の創出



2025年活動実績（毎月第3日曜日実施）

1月：新年会＆年間活動計画

2月：-

3月：草抜き・カブ植え付け・キャベツ植え付け（苗）

4月：総会・新聞作り

5月：たまねぎ、じゃがいも収穫祭

6月：サツマイモ苗植え・キャベツ・カブ収穫

7月：似島自然体験キャンプ

8月：じゃがいも土づくり

9月：じゃがいも・大根・カブ植え付け

10月：サツマイモ収穫祭 たまねぎ土づくり

11月：たまねぎ植え

12月：じゃがいも、大根収穫



ガハ八農園

毎月第3日曜日に広島市安佐南区川内のガハ八農園にて開催しています。

(参加人数：20～25人／回)

季節に合わせた野菜作りを通じて、子どもたちが地域の大人と触れ合い、土と触れ合い、互いに協力できる場所を作っています。収穫祭では、みんなで育てた野菜でカレーや豚汁を作り、大人も、子どもも、一緒に輪になり、「おいしいね」と会話をしながら、食事することで子どもたちの食育の場にもなっています。

実施に伴う効果

本活動では、畑仕事と食事を通し、年齢や障がいの有無を超えた多様な参加者が交流する場になっています。その結果、子どもたちは他者への思いやりをもち、協力しあい、また、話を聞いてくれる大人達や自分の仕事を認めてくれる場所として心理的な安心感が生まれ、笑顔になって帰っていきます。子どもたちは、普段接する機会の少ない土や昆虫に触れ、五感を通じた体験は、自然界への興味・関心を深め、豊かな感性を育む貴重な機会となりました。

参加者（保護者）の感想と私たちの想い

子どもたちの保護者からは「世代を越えて交流できる貴重な場」、「自然の中で人の温かさに触れられる」という声をいただき、このような場所が求められていることを改めて感じました。畑のスペースに限りがあり、一度に大人数を受け入れられないことや、運営メンバーの負担、資金面で開催頻度を上げることが難しいのが現状です。しかしながら、少しでも多くの子どもたちが活動に参加し、心も体も大きく育ててほしいと願い、引き続きガハ八塾の活動を応援してくれる人達と共に、子どもたちの成長を見守っていきたいと思います。

NPO法人 ガハ八塾



畑で収穫した野菜で作ったカレーうどんは子どもたちに大好評！！